

令和2年度

第2回進路説明会資料



令和2年10月10日

練馬区立大泉北中学校 第3学年

【目次】

「なりたい自分」へ一歩近づけるための進路選択を	P. 1
(1) 都立高校 近年の変更点概要	P. 2
(2) 令和3年度 都立入試の主な変更点	P. 3
(3) 進路カレンダー	P. 4
(4) 出願に必要な書類	P. 8
(5) 進路希望調査から希望進路決定まで	P. 9

《添付資料》

<input type="checkbox"/> 東京都立高等学校入学願書	P. 10
<input type="checkbox"/> 調査書見本	P. 11
<input type="checkbox"/> 自己PRカード	P. 12
<input type="checkbox"/> 本校の期待する生徒像	P. 13
<input type="checkbox"/> 私立高校の学費負担の軽減制度	P. 14

「なりたい自分」へ一歩近づけるための進路選択を

校長 井上 春好

いくつもある選択肢の中から、自分の進む道や進路先を決定することは、簡単なことではありません。

《進路を考える上で大切なこと》

- 1 自分を知ること（自分の性格、能力・適性、興味・関心、夢・希望）
- 2 相手を知ること（志望先の教育方針・内容・雰囲気、就職・進路先情報）
- 3 生き方を考えること（将来の方向性、仕事、生活）

上記の3つを総合的に判断して、《進路選択の判断基準》で最も大切なことは、

「その進路選択をすることにより、将来希望する“なりたい自分”
へ一歩でも近づけるかどうか」です。

仕事への興味、将来の方向性、さらには人生全体を見通して、これからどうしていきたいのかを選択基準として考え始めるのが中学3年生です。

まだ、「将来のことを全く考えていない」人は、今できる範囲で、将来の“なりたい自分”を考えてください。将来のことを考え、希望の進路を決めることができる人は、より明確な目的意識をもって努力をすることができます。

これからの人生では、努力・選択・判断をする節目が何度も訪れます。必ずしもすべて自分の希望どおりにはいきませんが、努力や挑戦をせずして成功はありません。また、努力を積み重ねた経験は必ず先にいきていきます。ぜひ、自分の目標や夢を達成できるように努力を続けることができる人になってください。

また、自分が進む道を決めるのは自分自身ですが、家族や周りの人からの助言を素直に聞き、相談することはとても大切なことです。自分では、気がつかなかった新たな見方や新たな自分、新たな可能性を見つけることもあります。

これから進路決定までの時期は、不安や心配なことがたくさんあると思います。保護者の方や家族、学校の先生、周りの人たちが、できる限り、みなさんを支えます。

令和3年3月、一人一人が、自分自身の夢や希望をもって、大泉北中学校を巣立っていけるように全員で頑張っていきましょう。



(1) 都立高校 近年の変更点概要

- ① 学力検査に基づく選抜（一般入試）における総合得点の算出方法の変更
 - ほとんどの学校が5教科受検（定時制と一部の学校は3教科受検）
 - 学力検査の得点と調査書の得点比率が多くの学校で7：3に統一（芸術科、体育科は6：4）
 - 学力検査のない4教科の評定点が2倍

- ② 併設型中高一貫教育校の募集停止
 - 白鷗、両国、大泉 ⇒ 令和4年までに高校の募集を停止
 - 富士、武蔵 ⇒ 今年度から募集停止

- ③ 全日制学力検査問題（国語、数学、英語）の作成方法
 - 3科目自校作成：日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、隅田川、国分寺
 - 3科目グループ作成：白鷗、両国、大泉 ⇒ 共通問題に変更

※国際高校は英語のみ自校作成問題

- ④ 分割募集を行う近隣の高等学校
 - 全日制：竹台、大山、田柄、東村山、田柄（外国文化）、練馬工業（キャリア技術）、練馬工業（キャリア技術）
 - 定時制：一橋、浅草、荻窪

- ⑤ 試験結果（得点等）の開示請求
 - 受検者又は保護者は受検した都立高校長に対して、学力検査等得点表及び学力検査における答案の開示を請求することができる。

≪不合格者≫
受付開始日：当該募集の入学手続締切日の翌日
※推薦に基づく選抜は、第一次募集・分割前期募集の入学手続締切日の翌日
受付終了日：令和3年8月31日（火）

≪合格者≫
受付開始日：令和3年5月6日（木）
受付終了日：令和3年8月31日（火）

- ⑥ 男女別定員の緩和実施校の増加
 - 募集人員の男女各9割までは男女別に合格させ、残り1割については男女の別なく、上位を合格させるという方法。

(2) 令和3年度 都立入試の主な変更点

① 出願手続

推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、入学願書等の提出方法を、都立高校への持参による出願から郵送による出願に変更する。なお、立川高校において、インターネットを活用した出願などを試行する。

② 検査日時

推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、1日又は2日で実施していた検査を、原則として1日ですることとする。

③ 合格者の発表

各都立高校での掲示に加え、ウェブサイトへの掲載も実施する。

④ 推薦に基づく選抜

一般推薦における検査では、集団討論は実施しない。

また、文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めない。

⑤ 学力検査に基づく選抜

東京都内中学校等の臨時休業の実施状況を踏まえ、出題範囲について配慮を行う。

⑥ インフルエンザ等学校感染症罹患等に対する追検査

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の感染者等のほか、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者として中学校が出席停止を行った者なども対象者に含めることになった。なお、追検査は3月10日(水)に第一次募集で出願した都立高校において実施する。分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しない。

(3) 進路カレンダー

10月				11月				12月			
日	曜	予定	提出書類	日	曜	予定	提出書類	日	曜	予定	提出書類
1	木			1	日			1	火		
2	金			2	月	三者面談		2	水	三者面談	調査書作成願配布
3	土			3	火			3	木	三者面談	調査書作成願配布
4	日			4	水			4	金	三者面談	調査書作成願配布
5	月			5	木	三者面談		5	土		
6	火			6	金	三者面談		6	日		
7	水			7	土			7	月	三者面談	調査書作成願配布
8	木			8	日			8	火	三者面談	調査書作成願配布
9	金			9	月			9	水		
10	土	第2回進路説明会		10	火			10	木		
11	日			11	水			11	金		
12	月		進路希望調査②配布	12	木		「住所氏名確認願」×切 「3年間の活動」申告書×切	12	土		
13	火			13	金			13	日		
14	水			14	土			14	月		
15	木			15	日			15	火	入試相談始	調査書作成願×切
16	金			16	月			16	水		
17	土			17	火	第3回定期考査		17	木		
18	日			18	水	第4回定期考査		18	金		
19	月		進路希望調査②×切	19	木	第5回定期考査		19	土		
20	火			20	金	復習確認テスト	進路希望調査③配布	20	日		
21	水			21	土			21	月		
22	木			22	日			22	火		
23	金			23	月			23	水		
24	土			24	火			24	木		
25	日			25	水			25	金	終業式	
26	月			26	木			26	土		
27	火	三者面談		27	金		進路希望調査③×切	27	日		
28	水	三者面談		28	土			28	月		
29	木	三者面談		29	日			29	火		
30	金	三者面談	「住所氏名確認願」配布 「3年間の活動」申告書配布	30	月			30	水		
31	土							31	木		

1月

日	曜	予定	都立受検	都内私立	私立受験	提出書類	その他
1	金						
2	土						
3	日						
4	月						
5	火						
6	水						
7	木				埼玉推薦・併願出願始		
8	金	始業式				都推薦願書〆切	
9	土						
10	日						
11	月						
12	火		都推薦出願始				
13	水						
14	木						調査書記載事項通知〆切
15	金		都推薦出願終	東京推薦出願始			
16	土						
17	日						
18	月						
19	火						
20	水						
21	木						
22	金			東京推薦始	埼玉推薦・併願始		
23	土						
24	日						
25	月			東京一般出願始		都一般願書〆切（一般のみ受検者）	
26	火		都推薦検査				
27	水						
28	木						
29	金		都一般出願始				
30	土						
31	日						

3月

日	曜	予定	都立受検	都内私立	私立受験	提出書類	その他
1	月						
2	火		都一次発表				
3	水		都一次手続〆切				
4	木						
5	金		都後期出願始				
6	土						
7	日						
8	月		都後期願書取下				
9	火		都後期願書再提出				
10	水		都後期検査				
11	木						
12	金						
13	土						
14	日						
15	月						
16	火		都後期発表				
17	水		都後期手続〆切				
18	木						
19	金						
20	土						
21	日						
22	月						
23	火		定時二次出願				
24	水		定時二次願書取下				
25	木		定時二次願書再提出				
26	金		定時二次検査				
27	土						
28	日						
29	月		定時二次発表				
30	火		定時二次手続〆切				

(4) 出願に必要な書類

- 担任からお渡しします。保護者、生徒は何もする必要はありません。開封もできません。
- ◎ 担任からお渡しします。保=保護者、生=生徒が記入または関係する部分があります。また記入後は、校長印が必要な場合など、担任に再提出になります。
- ☆ 保護者、生徒が用意するものです。学=中学校、保=保護者、生=生徒が記入または関係する部分があります。調査書の場合は開封できません。

都立高校		私立高校	
推薦選抜	一般選抜	推薦選抜	一般選抜
●推薦書（一般か特別） ●調査書※1 ◎保・生入学願書 ◎生自己PRカード ◎保受検料振込用紙 ☆生証明写真	●調査書 ◎保・生入学願書 ◎生自己PRカード （面接実施校） ◎保受検料振込用紙 ☆生証明写真	☆推薦書 ☆調査書 （都立様式の場合は中学校で用意します。様式は高校によって異なります。） ☆保・生入学願書 ☆保受検料振込用紙 ☆生証明写真 ☆保合格通知郵送用の封筒と切手 （必要な学校のみ） ☆生学校説明会参加証明証 （必要な学校のみ）	☆調査書 （都立様式の場合は中学校で用意します。様式は高校によって異なります。） ☆保・生入学願書 ☆保受検料振込用紙 ☆生証明写真 ☆保合格通知郵送用の封筒と切手 （必要な学校のみ） ☆生学校説明会参加証明証 （必要な学校のみ） ☆保延納願※2 （必要な学校のみ）

※1 調査書

調査書には、評定や出欠席のほか「諸活動の記録」を記載します。「諸活動の記録」に載せる検定等は12月1日を目安にお考えください。

※2 延納願

特別な用紙はなく、願書そのものに中学校側が証明押印する場合があります。また、そういう手続きが不要で、入学金等の支払期限を「都立高校合格発表日3時までか、翌日まで」と指定している場合もあります。

(5) 進路希望調査から希望進路決定まで

☆マークがついている書類をお渡しします。期日までにご提出ください。

太枠で囲んだ日は、書類の提出期限です。P.Oの日程も合わせてご確認ください。

日程	事項	内容	都立高校		私立高校	
			推薦受験	一般受験	推薦受験	一般受験
～10月19日(月)	第2回進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ■推薦受験の希望の有無 ■現段階での進路希望先 				
10月26日(月)～	第2回三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ■学校推薦や併願優遇制度の利用を希望するか ■学校説明会等に参加したか、またその高校についてよく理解できているか ■これからの生活と学習について(評定と復習確認テストの結果を踏まえて) 				
～11月27日(金)	第3回進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ■進路希望先決定 				
12月2日(水)～	第3回三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ■12月時点での成績をもとに進路希望先を最終的に決定する。 ■私立高校の単願推薦、併願優遇を希望する場合、高校側の求める基準を満たせば、「志望先確定」となる。 ■「推薦」なので、それにふさわしい学校生活であることが前提である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■推薦受験を受けるかどうか、受けるとしたらどの高校を受けるか。受検校の変更はまだ可能。 <p>△特別推薦添付書類の準備</p> <p>☆推薦書作成願</p> <p>☆調査書作成願</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■一般受験の高校を決める。 <p>☆調査書作成願</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■推薦受験を受けるのであれば、受験先も含め、ここで「志望先確定」となる。 ⇒入試相談にかける <p>☆推薦書作成願</p> <p>☆調査書作成願</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■併願優遇を受けるのであれば、受験先も含め、ここで「志望先確定」となる。 ⇒入試相談にかける <p>☆推薦書作成願</p> <p>☆調査書作成願</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■調査書に書くことができる「諸活動の記録」で記載する検定等は 12月1日(火)を目安にお考えください。 						
12月16日(水)～	書類準備 調査書 推薦書作成願 調査書作成願 自己PRカード	<ul style="list-style-type: none"> ■ここでの「調査書」とは私立高校、私立高等専修学校を希望する人だけです。都立高校の調査書は、東京都から各中学校に来るので、中学校側で準備します。一部の私立高校、私立高等専門学校には、独自形式の調査書になっている学校があります。願書を購入されたとき、封筒の中に調査書が入っていれば、それは独自の形式である可能性がありますので、担任までご提出ください。(私立高校でも「都立用の調査書でも可」場合があります。その場合は都立用を中学校側で準備します。) ■私立学校の独自形式の調査書は、作成に時間がかかることがあります。お早めにご提出ください。 				

(様式4)

令和3年度 東京都立高等学校入学願書

〔全一次・分割前期〕
〔定一次共通様式〕

東京都立 **西新宿** 高等学校長 殿

出 願 区 分

令和3年度 都立高等学校受検票

〔全一次・分割前期〕
〔定一次共通様式〕

男子のみ点線部分に沿って左上端を切り取る。

貴校への入学を志願します。

受検番号	※	受検番号	※
変更後	※	変更後	※

志望校(第1志望)	西新宿 高校	コース	第2志望	科(分野)部	第3志望	科(分野)部	第4志望	科(分野)部	第5志望	科(分野)部
志望校(第2志望)	普通	コース	第2志望	科(分野)部	第3志望	科(分野)部	第4志望	科(分野)部	第5志望	科(分野)部
志望校(第3志望)		コース	第2志望	科(分野)部	第3志望	科(分野)部	第4志望	科(分野)部	第5志望	科(分野)部
志望校(第4志望)		コース	第2志望	科(分野)部	第3志望	科(分野)部	第4志望	科(分野)部	第5志望	科(分野)部
志望校(第5志望)		コース	第2志望	科(分野)部	第3志望	科(分野)部	第4志望	科(分野)部	第5志望	科(分野)部

フリガナ シンジウ クロウ

氏名 新宿太郎 性別 男

生年月日 平成17年 8月 8日 15歳

現住所(出願時の住所) 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

入学式までに転居予定の人は入学後の住所

在学(出身)中学校名 新宿区立 新宿中央 中学校

卒業年月 令和3年 3月 (卒業見込) 卒業

保護者 現住所(出願時の住所) 志願者と同じ (電話) 03(5320)6755

入学式までに転居予定の人は入学後の住所

全一次・分割前期	全一次・分割前期
定一次	定一次

※ 全一次・分割前期又は定一次を赤色の○で囲む。

成人受検者特別措置希望(定時制)

成人受検者特別措置希望(定時制)

ルビ振替等特別措置希望

ルビ振替等特別措置希望

受検番号	※
変更後	※
フリガナ	シンジウ クロウ
受検者氏名	新宿太郎
在学(出身)中学校名	新宿区立 新宿中央 中学校
検査会場名	※
検査会場名	※

※ 検査会場が入学願書受付高校と異なる場合には、各高校が志願者に通知する。

志願者は、高等学校、高等専門学校に在学していません。また、現在、都立高等学校、都立産業技術高等専門学校に合格していません。なお、事実上反する記載によって入学したと認められた場合は、入学を取り消されても異存ありません。

保護者氏名 新宿 春子 印

令和3年 1月 30日

志願者との続柄 母

上記の者は貴校に応募する資格があることを確認しました。

令和3年 1月 31日

新宿区立 新宿中央 中学校長 東京 花子 公印
(電話) 03(5320)6755

1 検査日時及び時間割

令和3年2月21日(日) 午前8時30分集合

(1) 時間割(定時制成人受検者特別措置の受検者を除く。)

- 第1時限 国語 午前 9時00分 ~ 午前 9時50分
 - 第2時限 数学 午前10時20分 ~ 午前11時10分
 - 第3時限 英語 午前11時40分 ~ 午後 0時30分
 - 第4時限 社会 午後 1時30分 ~ 午後 2時20分
 - 第5時限 理科 午後 2時50分 ~ 午後 3時40分
- ※ 検査教科が3教科の高校では、学力検査の終了時刻が異なる場合がある。
※ 各校検査及び面接等を行う場合は、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。
※ 定時制成人受検者特別措置の受検者及び学力検査問題を自校で作成する定時制の受検者については、各高校が集合時刻及び時間割を志願者に通知する。

(2) 持ってくるもの

受検票、HB又はBの鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、直線定規(角度の目盛りのないもの)、コンパス、赤鉛、上履き
なお、時計以外の機能備えた時計、携帯電話や時計型の端末などの通信機器の使用は許可しない。

2 合格発表日時

全日制 令和3年3月2日(火) 午前8時30分(ホームページ掲載)
午前9時30分(校内掲示)

定時制 令和3年3月2日(火) 午前8時30分(ホームページ掲載)
午後4時(校内掲示)

※ この受検票は、合格通知書を受領する時及び得点等の開示を請求する時に必要なので大切にしてください。

(受検票・裏)

＜ 入学願書提出期間 ＞

令和3年1月29日(金)から2月4日(木)まで(郵送、郵便局必着)

(のりしろ)

領収証書貼付欄

貼る前に領収証書を
確認してください。

1 金融機関(銀行・郵便局等)
の領収印はありますか?

2 端の色と金額は?

- ・全日制の人は、桃色(2,200円)です。
- ・定時制の人は、灰色(950円)です。

入学料金は、納付書裏面に記載の納付場所
で納付してください。ただし、納付したものは、
いかなる理由でも還付しません。

入学料金を納付後の領収証書は、入学願書受
付の際に必要なので、領収証書貼付欄に貼り付
けてください。

(のりしろ)

(「様式4」の裏面)

入学願書記入上の注意

- 高等学校長の宛名
志願する高等学校名を記入してください。
- 入学願書及び受検票の出願区分の欄等
志願する出願区分を赤色の○で囲んでください。
- 第1志望の欄
志願する高等学校名とコース、科(小学科・分野)、部名を記入してください。
- 第2志望～第5志望の欄
部及び専門学科を第1志望に志願する者は、順位の欄(第2志望から第5志望の各欄)に、志望の順位に従って、機械、電子、電気などを記入してください。第2志望以下を志望しない場合には、各順位の欄に「なし」と記入してください。記入のない場合は、第2志望以下を志望しないものとみなします。
- 志望校「変更後」の欄
出願時には何も記入しないでください。
- 志願者の氏名の欄には、住民票に記載されているおりの氏名を記入してください。
外国籍を有し住民票に通称名が記載されている、受検票に通称名のみを記載を希望する者は、志願者の氏名の欄は本名の後に通称名を()を付けて記入してください。この場合、受検票の受検者氏名については、通称名だけで構いません。
- 生年月日の欄の年齢は、令和3年3月31日現在で記入してください。
- 住所の欄には、例えば、「西新宿二丁目8番1号」は「西新宿2-8-1」と記入しても構いません。
- 出願日以降入学式までの間に都内に転居することが確実な者は、転居予定先の住所を「入学式までに転居予定の人は入学後の住所」欄に記入してください。
- 在学(出身)中学校名の欄には、都外の中学校の場合、道府県名から記入してください。
- 保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者と同じ」と記入しても構いません。
- 成人受検者特別措置希望欄(定時制志願者のみ)
成人受検者特別措置とは、令和3年3月31日現在で満20歳以上の者で、希望する者については、学力検査を行わず、面接及び作文により受検できることをいいます。この措置を希望する者は、成人受検者特別措置希望欄に赤色で○印を記入するとともに定められた申請書を提出してください。
- ルビ振替等特別措置希望欄
国語を問わず、入国後の在日期間が入学日現在原則として6年以内の者で、日本語指導を必要とする生徒等に対する特別措置を希望する者は、ルビ振替等特別措置希望欄の「ルビ付問題」に赤色で○印を記入してください。
外国籍を有し、入国後の在日期間が入学日現在原則として3年以内の者で、外国籍の受検者に対する特別措置を希望する者は、ルビ振替等特別措置希望欄の「ルビ付問題・辞書持込み」に赤色で○印を記入してください。
なお、申請に当たっては、出願時に各特別措置に定められた申請書を提出してください。
- 保護者氏名欄に押印する保護者印は、朱肉を使用して押印してください。
- 都内の中学校に在学していない者は、中学校名、中学校長名、中学校の電話番号の記入及び中学校長の公印の押印は必要ありません。
- 男子のみ点線部分に沿って左上端を切り取ってください。
- 黒のペン又はボールペンで記入してください。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないでください。
- ※欄は記入しないでください。

個人情報の提供に関する同意署名欄(任意)

私は、東京都立高等学校入学者選抜(第一次募集・分割前期募集)における検査結果の全て【(1)受検番号(2)氏名(3)在籍中学校名(4)学力検査の得点(5)面接の得点(6)小論文・作文の得点(7)実技検査の得点(8)志願申告書の得点】を、在籍する学校における進路指導や学習指導に活用するために、都立高等学校から在籍する学校へ提供することに同意します。

令和 年 月 日 (署名)

(注意) ※ 上記の内容に同意する場合のみ、志願者本人が自署してください。

※ 在籍する学校に提供された入学者選抜における検査結果は、個人情報としてその秘密を厳守し、進路指導や学習指導以外の目的には一切使用いたしません。

調 査 書

(注) ①字句を訂正したときは、公印を用いてその旨を明らかにする。
②※印の欄には記入しない。

※受検番号	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特別推薦	
一般選抜 (変更前)	

※受検番号	コース・科(分野)・部
一般推薦	
一般選抜 (変更後)	

成績一覧表の番号	成績一覧表の提出の有無 (該当を○で囲む。)	有・無
----------	---------------------------	-----

学籍の記録	フリガナ	性別	転入学等	年 月	編入学	出欠の記録	出席しなければ ならない日数	海外帰国生徒対象等との併願 (該当番号を○で囲む。)
	氏名			年 月	中学校から転学		欠席日数	
	生年月日	年 月 日生	卒業・卒業見込	年 月	卒業見込・卒業			

各 教 科 の 学 習 の 記 録		総合的な学習の時間内容及び評価																																				
教科	国 語	社 会		数 学		理 科		音 楽		美 術		保健体育		技術・家庭		外国語(英語)		留學生との交流会などを通して異文化理解に努め、開発途上国をはじめとした世界が抱える諸問題に目を向け、国際協力の現状などを学んだ。取り組みを通して、課題解決のための探究心や思慮深さ、学習したことを工夫してまとめる力が向上した。																				
観 点 別 学 習 状 況	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用	社会的事象についての知識・理解	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	運動や健康・安全についての思考・判断	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動の技能	運動や健康・安全についての知識・理解	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価	C	A	C	C	C	C	C	C	C	A	B	A	A	B	B	C	C		B	C	C	C	C	B	C	B	C	B	B	B	C	C	C	C	C	B	C	B
評定	2		2		3		2		2		2		3		2		2																					

諸活動の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動で夏祭りに参加(1年) ・給食委員を担当(1年) ・合唱コンクールで優秀賞をとる(2年) ・バスケットボール部員として〇〇区選手権大会準優勝、東京都選手権大会ベスト16(1年) 夏季研修大会2位入賞(2年)
--------	--

記載事項に相違ありません。

年 月 日 記載者氏名 私印

[学校所在地] [電話番号]

フリガナ [学校名] 校長名 公印

[学校番号]

(注意) 学校名にのみフリガナを付ける。[学校番号]は、都内の公立学校のみ記入する。
[学校番号]は、東京都立高等学校入学者選抜実施要綱別表10を参照すること。

(A4判)

受検番号	コース・科(分野)・部
文化・スポーツ等 特別推薦	

受検番号	コース・科(分野)・部
一般推薦	
一般選抜	

自己PRカード

年 月 日

東京都立 高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中 学 校

氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしたり、学校説明会などに参加して説明を聞いたり、学校案内やパンフレットを見たりして、各学校の特色をよく理解してから記入するとよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3年間の中学校生活において、

- ① 総合的な学習の時間で学んだこと
- ② 学校内での学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動など
- ③ 学校外での文化的な活動、スポーツ活動、ボランティア活動や資格・検定などの取得
- ④ その他の活動

などの中から、特に伝えたいことを選び、あなたがその体験から得たことについて具体的に記入しましょう。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- ① 今自分が思い描いている将来の夢や目標
 - ② 将来なりたい職業、その職業に就きたい理由、その職業に就くことができるよう努力していることなど
 - ③ 高校卒業後の具体的な進路など
- について、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 1 志願者が黒のボールペンで記入する。

なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。

- 2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

学校名	本校の期待する生徒の姿
石神井	<p>本校は広い敷地と静かで落ち着いた学習環境の下、「文武二道の両立」を実践する伝統校です。学業では日常の学習と充実した補習・補講で学習を深め、四年制大学を中心とした進路希望を実現しています。また、部活動にはほぼ全員が加入し、高い目標をもって日々活動しています。「文武二道の両立」を実践する本校の特色に合った以下の生徒の入学を強く希望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常の授業に主体的・積極的に取り組むとともに、地道に粘り強く努力し、自ら学力を向上させようとする意志が強い生徒。また、本校での学びを深めることで、四年制大学進学等の進路実現を目指す生徒 2 中学校の各教科や総合的な学習の時間を含めた学習活動全般において意欲的に取り組み、十分に習得、理解している生徒 3 体育祭・文化祭などの学校行事や部活動等に積極的に参加し、前向きに取り組むことができる生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、学業成績のほか、(1)英検、数検、漢検等で上位級取得に積極的な生徒、(2)部活動での部長・キャプテンの経験や都大会出場等と同等の能力がある生徒、(3)生徒会長、各種委員会委員長等を経験している生徒、(4)ボランティア等校外活動での実績がある生徒、が望ましい。なお、「文化・スポーツ等特別推薦」を英語、バスケットボール、サッカー、ラグビーで実施します。</p>
田柄	<p>本校は、普通科と普通科外国文化コースで構成されています。生徒一人一人の関心、適性、能力に合うよう、習熟度別・少人数授業を数多く取り入れ、きめ細かい授業を展開しています。また、地域に根ざす学校として社会に貢献できる生徒の育成を目指すとともに、国際理解教育を推進しています。</p> <p>このような特色のある本校で、以下のことをよく理解している生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 服装・頭髪や授業規律など、本校の規則を守ることができる生徒 2 学習に真剣に取り組む、自らの進路を切り開いていこうとする生徒 3 学校行事、委員会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒 4 国際交流や日本の伝統・文化の授業に積極的に取り組む生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、上記1から4までの全てに該当する生徒が望ましい。</p>
練馬	<p>練馬高校は「文武両道の中堅校」として、「立志」「自律」「飛躍」を校訓に掲げ、大学進学等生徒の進路希望を実現し、「分かる授業」を実施し生徒の確かな学力を向上させ、学校行事や部活動の振興を通して生徒の心身を鍛え、地域の伝統校として信頼される学校づくりを目指しています。</p> <p>練馬高校の期待する生徒像は、次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習活動に興味・関心をもち、大学進学等進路実現に向けて前向きに取り組む生徒 2 集団生活におけるマナーやルールを守り、友人や教職員とのよい人間関係が築ける生徒 3 部活動、委員会活動、学校行事等において、自主性をもって熱心に活動することができる生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、上記1から3までの全てについて日常的に取り組んでいる生徒が望ましい。</p> <p>※ 「文化・スポーツ等特別推薦」を、硬式野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、女子バレーボールについて実施する。入学後も本校で当該部活動を3年間継続できること、かつ上記1から3までを踏まえていることが望ましい。</p>
光丘	<p>本校は、緑豊かな光が丘公園に隣接した落ち着いた環境にある高校として、地域から高い評価を得てきました。特に、近年、様々な地域行事に参加することによって、地域連携を教育活動に取り入れようとしています。また、生徒や保護者の学校参加を促進し、生徒が主人公の学校づくりを進めています。さらに、重点課題として、「授業で勝負」を合言葉に、授業改善に取り組んでいます。</p> <p>こうした取り組みを通して、本校では、以下のような生徒を育てています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人の話を聴き、共感する心をもちつつ、自分の意見をもち、自分の言葉で表現できる生徒 2 仲間を大切にし、学び合い、育ち合うことにより、自らを高めようとする生徒 3 地道な努力を続ける忍耐力をもち、その自信に裏打ちされた自己肯定感をもつ生徒 <p>このような本校の教育方針を深く理解し、本校への入学を強く希望する生徒の受検を期待します。</p> <p>※ 特に推薦選抜においては、中学校で学習活動や部活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んだ生徒が望ましい。</p> <p>※ 「文化・スポーツ等特別推薦」を、男子バスケットボール、硬式野球、男子サッカー、剣道について実施する。</p>
青井	<p>本校は「自信と誇りある生徒の育成」、「キャリア教育で未来を拓く」を柱として、社会人としての基本的なルール・マナーを身に付けさせ、自覚と責任をもって社会貢献しようとする人間を育て、一人一人の進路実現を図っています。したがって、次の項目を満たす生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会の一員としての自覚をもち、将来の目標をもって高校生活を送ることができる生徒 2 高校生活を欠席・遅刻・早退がなく送ることができる生徒 3 授業規律を守り、学習活動に真剣に取り組む、学力向上を目指す生徒 4 本校の生活指導上のルールやマナーをしっかりと守ることができる生徒 5 部活動・生徒会活動・委員会活動・学校行事等に意欲的に取り組める生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、部活動、生徒会活動、委員会活動に意欲をもって参加することができる生徒が望ましい。</p>
足立	<p>本校は創立90年を超える地域に根ざした伝統校として、主体的・意欲的に学習に取り組み、自らの進路を切り開く気概と力量のある生徒の育成を目指している。そこで、次に該当する生徒を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「学業第一」の校風を十分理解し、将来の進路についてよく考え、目標をもって学習に励む生徒 2 部活動や学校行事などに積極的に取り組む能力があり、入学後もそれらの活動を意欲的に続けていくことができる生徒 3 ルールを理解し、守ることができる生徒 4 地域社会に貢献する意欲のある生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、上記に加え、地道に粘り強く努力することができる生徒が望ましい。</p> <p>※ 「文化・スポーツ等特別推薦」においては、次の点を特に重視する。</p> <p>(1) 東京都大会等にレギュラーとして出場する能力がある者、又はそれに相当する能力、技術に自信のある者。なお、ラグビーにおいては、競技歴の有無は問わない。(2) 学業と部活動を両立させ、教育活動の様々な場面において模範となる生徒</p>
足立新田	<p>本校は、学系列選択科目制を取り入れ、「生徒の多様な能力に、多様な教育活動で、多様な進路実現」を目指してきました。その結果、保護者、地域の協力で成果を収めることができました。今後、より一層本校の発展に貢献できる以下のような生徒を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の特色である、2学年からの三つの学系列選択科目制(スポーツ健康系・福祉保育系・メディア文化系)をよく理解し、将来への展望をもって学習に取り組むなど、志望動機が明確である生徒 2 中学校において、学習活動や部活動、生徒会活動、ボランティア活動に積極的に取り組み、本校入学後もそれらの継続が期待できる生徒。特に部活動を積極的に取り組む意志のある生徒 3 中学校3年間の出席状況が良好で、真面目に学校生活に取り組み、本校入学後もその姿勢が期待できる生徒 <p>※ 特に推薦選抜においては、部活動、生徒会活動への取り組みに優れた実績がある生徒が望ましい。</p> <p>※ 「文化・スポーツ等特別推薦」を、相撲、陸上競技、硬式野球、男子バレーボール、女子バレーボール、女子バスケットボールについて実施する。入学後も本校の部活動に所属し、3年間継続して部の中心として活躍できる生徒であることが望ましい。</p>

私立高校には学費負担を軽減する制度があります

貸付(無利子)

入学支度金

入学金など入学時に学校に支払う費用のうち、25万円を入学先の学校が無利子でお貸しする制度です。

対象者

都内にお住まいで、入学支度金貸付制度のある都内私立の「高等学校」「特別支援学校(高等部)」「高等専門学校」「専修学校(高等課程三年制)」に入学する生徒の保護者です。

返済方法

学校が指定する方法で、3年間の在学期間中に返済していただきます。

保証人

連帯保証人が必要です。

お問合せ先

就学支援金
授業料軽減助成金
奨学給付金

東京都私学就学支援金センター
☎ 03-5206-7925(受付時間 平日9:15~17:00)
※6~7月のみ土曜電話受付
(東京都新宿区神楽坂1-15神楽坂1丁目ビル2階・3階)

〈就学支援金〉
都外の学校については、
学校が所在する道府県に
お問合せください。

東京都育英資金

公益財団法人 東京都私学財団 育英資金課
☎ 03-5206-7929(受付時間 平日9:15~17:00)

入学支度金

入学先の高等学校等に直接お問合せください。
(詳細は学校によって異なる場合があります。)

〈授業料軽減助成金ほか〉
都外に在住の方は、
お住まいの道府県に
お問合せください。



公益財団法人 東京都私学財団について

都内にある私立学校の教育の充実や発展を図るとともに、
都民の教育費負担を軽減するための支援を行っています。

東京都私学財団

検索

<http://www.shigaku-tokyo.or.jp>

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ11階



授業料の負担軽減

国の助成

就学支援金

年収目安 約910万円 ※

都の助成

授業料軽減助成金

→都内在住要件があります。

年46万1,000円

(都内私立高校平均授業料相当)
ただし在学校の授業料が上限

※年収目安について

- ・保護者1人のみ給与収入がある4人世帯(夫婦と子2人)をモデルとした場合です。
- ・年収は目安であり、審査は区市町村民税課税標準額等に基づき行います。
- ・所得要件を超えている場合でも、扶養する23歳未満の子が3人以上いる世帯は、年5万9,400円負担が軽減されます。

授業料以外の負担軽減

都の助成

奨学給付金

→都内在住要件があります。

年13万8,000円(最大)

学費全般の支援

貸付(無利子)

育英資金

→都内在住要件があります。

年42万円

全ての制度は併用できます!
育英資金以外の各制度は毎年申請が必要です。

詳しくは次のページをご覧ください。
お問合せ先は裏面にあります。

都認可の私立通信制高校※も授業料負担が軽減されます!

制度の概要については私学財団HP [東京都私学財団](#) 検索 でご確認ください。

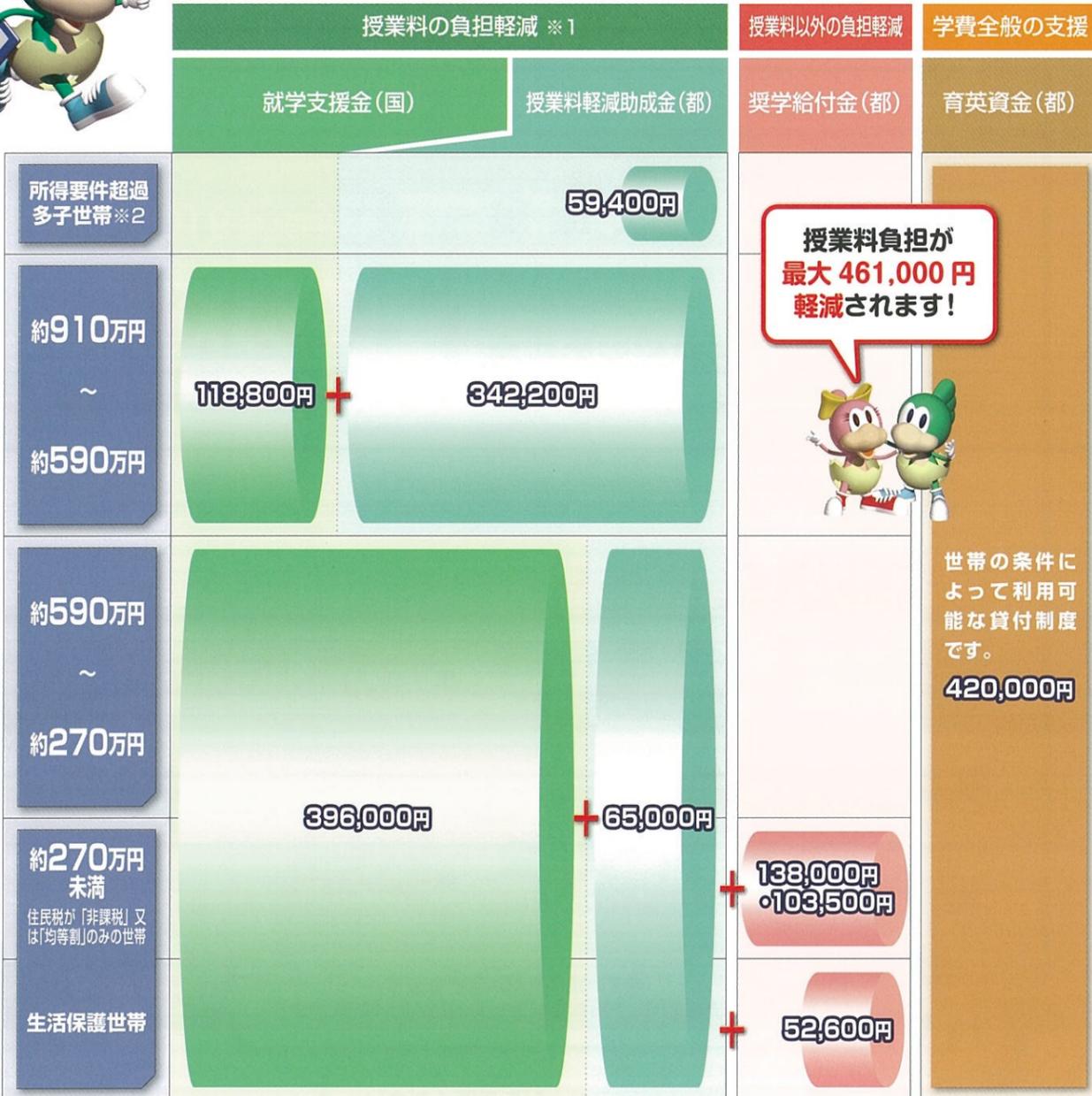
年収目安約590万円~約910万円
就学支援金+授業料軽減助成金=
25万4,000円
(都認可私立通信制高校平均授業料相当)

※ NHK学園高等学校、大原学園高等学校、科学技術学園高等学校、北豊島高等学校、聖パウロ学園高等学校、東海大学付属望星高等学校、目黒日本大学高等学校、立志舎高等学校

保護者の年収目安と軽減額(年額)



世帯年収等により軽減額が異なります。
利用できる制度を確認してください!



※1 就学支援金と授業料軽減助成金の支給総額は、46万1,000円の範囲内で在学学校の授業料(保護者が負担した金額)が上限となります。なお、就学支援金により授業料が全額軽減される場合は、授業料軽減助成金は支給されません。
 ※2 多子世帯:扶養する23歳未満の子が3人以上いる世帯
 ※3 年収目安は、保護者1人のみ給与収入がある4人世帯(夫婦と子2人)をモデルとした場合です。年収は目安であり、区市町村住民税課税標準額等に基づき審査を行います。

「就学支援金・授業料軽減助成金・奨学給付金・育英資金(一般募集)」の申請について

入学先の私立高等学校等から、各制度の申請手続きについてお知らせします。また、当財団のホームページからも随時ご案内しています。
 ※育英資金には中学3年次に申し込む予約募集(高等学校等進学後の貸付)もあります。



国の助成

就学支援金

私立高等学校等に通う生徒が安心して勉学に打ち込めるよう、授業料の一部に充てる費用として「高等学校等就学支援金」を国が学校に支払い、家庭の教育費負担を軽減する制度です。

対象者	区分(令和2年7月~)		軽減額(年額)
	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除額(※)が、 154,500円未満の世帯	年収の目安4人世帯(夫婦と子2人)の例	
軽減額 (単位制の学校は軽減額が異なります)	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除額(※)が、 304,200円未満の世帯	約590万円未満	39万6,000円
	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除額(※)が、 304,200円未満の世帯	約910万円未満	11万8,800円

※調整控除の額に、政令指定都市の場合3/4を乗じる。

都の助成

授業料軽減助成金

私立高等学校等に通う生徒の保護者の方の経済的負担を軽減するために、都が授業料の一部を助成する制度です。

対象者	区分		軽減額(年額)
	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除相当額(※)が、 154,500円未満の世帯	年収の目安4人世帯(夫婦と子2人)の例	
軽減額	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除相当額(※)が、 304,200円未満の世帯	約590万円未満	6万5,000円
	区市町村住民税課税標準額 × 6% - 区市町村住民税調整控除相当額(※)が、 304,200円未満の世帯	約910万円未満	34万2,200円
	上記Bの基準を超過する場合で、世帯人数に対応した基準額以下の世帯		
	上記Cの基準を超過する場合で、扶養する23歳未満の子が3人以上いる世帯(多子世帯)		5万9,400円

※調整控除相当額について
 申請者(保護者)1人のみ所得がある世帯で、ひとり親家庭又は配偶者の収入(パート等)が配偶者控除の範囲内の所得の世帯=1,500円
 申請者(保護者)とその配偶者が共に所得がある世帯で、配偶者控除を受けていない世帯又は配偶者に収入があり、配偶者特別控除を受けている世帯=3,000円

○都認可の私立通信制高等学校については、年収目安約590万円~約910万円の世帯を対象に、就学支援金と授業料軽減助成金の支給総額が254,000円の範囲内で保護者が負担する在学学校の授業料を上限に助成します。詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

都の助成

奨学給付金

私立高等学校等に通う生徒の保護者の方の授業料以外の教育費(学用品費、修学旅行費等)負担を都が軽減する制度です。

対象者	区分		給付額(年額)
	生活保護生業扶助受給世帯	住民税が非課税の世帯 ○住民税が均等割のみの世帯	
給付額 (通信制の学校は給付額が異なります)	生活保護生業扶助受給世帯		5万2,600円
	住民税が非課税の世帯 ○住民税が均等割のみの世帯		10万3,500円 又は 13万8,000円 (世帯の構成員の状況により、給付額が異なります。)

※奨学給付金は、保護者がお住まいの都道府県から給付されます。保護者の住所が都外の場合は、保護者がお住まいの道府県へお問合せください。

貸付(無利子)

育英資金

勉学意欲がありながら経済的理由で学校に通うことが難しい生徒本人に、都が奨学金を無利子でお貸しする制度です。

対象者	区分		育英資金は貸付です!
	私立	国公立	
貸付月額	3万5,000円	1万8,000円	
返済方法	貸付終了から、おおむね11~13年間で返済していただきます。		
保証人	連帯保証人2名が必要です。		